

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	山村学園短期大学
設置者名	学校法人山村学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	子ども学科	夜・通信			34	34	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバスによる http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/matters_curriculum
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	山村学園短期大学
設置者名	学校法人 山村学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/university_organization1

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社DNPテクノリサーチ	2021.4.1～ 2026.3.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	あさひ銀行	2024.1.10～ 2029.1.9	組織運営体制への チェック機能
非常勤	独立行政法人大学入試センター	2024.1.10～ 2029.1.9	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	山村学園短期大学
設置者名	学校法人山村学園短期大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバス作成依頼を12月下旬より行い、2月上旬までに提出を依頼。 シラバス作成依頼には作成に係る留意点等を示し規則性をもたせている。提出されたシラバスや学力の割合は記載内容の適切性、誤字脱字等を教務・FD委員の複数名でチェックをし、担当教員に訂正の依頼や修正箇所についての確認を行っている。また、ディプロマポリシーに掲げる学力と担当科目との関係についての割合を各科目で示し、学生一人ひとりがどの程度学力をつけたかを知る指標とし、グラフ化したデータをディプロマサプリメントとして学生に配付している。</p>	
授業計画書の公表方法	シラバスによる http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/matters_curriculum
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>教員に対してはGPAの制度に関する資料と共に、シラバス作成に係る資料にて配付。評価基準を次のように定めている。 A+：達成目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている。/A：達成目標を達成し、優秀な成績をおさめている。/B：達成目標をおおむね達成している。/C：到達目標を最低限達成している。/D、F：定められた学習水準に達成していない、または単位取得のために必要な条件を備えていない。 シラバスでは各科目の「成績評価の基準の方法」を①定期試験、②授業への取り組み、態度、③提出物、④その他に区分し、単位の認定に係るパーセンテージを割合で提示している。 学生にはホームページでシラバスを公表し評価基準の公表も一緒に行い、授業内でも説明を行っている。 各学期の単位認定は成績提出後の教授会にて成績判定を行い、認定を行っている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>GPA 制度に関する要項を学生便覧に明示し、成績の評価基準やグレード・ポイント、GPA 算出方法の説明を各学期で行っている。</p> <p>在学生には科目の種類（講義、演習、実技・実習科目）での GPA や成績評価の平準化についても配付し、各科目の GPA の図を提示し、成績評価の割合や累計 GPA の割合について GPA に係る配布資料と共に説明を行っている。卒業生（2年後期）にはディプロマサブリメント成績証明書の補足資料として GPA や DP が分かる資料を配付している。</p> <p>【計算式】 $\text{GPA} = (\text{各科目の単位数} \times \text{その科目で得たポイント}) \text{の合計} \div \text{総履修登録単位数 (不合格科目含む)}$</p> <p>※ GPA の値は、小数点第3位を四捨五入して、小数点第2位まで表示している。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	<p>前期科目は後期開始後の授業時に、後期科目は履修ガイダンスの際に配付し説明している。また、事務局教務担当者に問い合わせれば資料は入手可能となっている。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<p>卒業の認定に係るディプロマ・ポリシーは学生に配付する学生便覧に掲載し、履修登録時に単位認定方法等について説明。各学期で成績判定を行い、2年次後期には卒業判定を行っている。</p> <p>また、キャリアアップセミナーにて初年次教育総合プログラムの一環で単位の取り方やディプロマ・ポリシーについても説明を行っている。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<p>学生便覧や履修ガイダンス。キャリアアップセミナーでも資料を配布し説明を行っている。</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	山村学園短期大学
設置者名	学校法人山村学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/financial_situation#b-653715
収支計算書又は損益計算書	ホームページ http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/financial_situation#b-653712
財産目録	ホームページ http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/financial_situation#b-653708
事業報告書	ホームページ http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/financial_situation#b-729792
監事による監査報告(書)	ホームページ http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/financial_situation#b-653711 http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/financial_situation#b-653711

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページ https://pl.ssl-dl.jp/dl/51184-f56116b7ef125fd4f42f7ce2795303ce

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 子ども学科
教育研究上の目的 (公表方法: ホームページ http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/message)
(概要) 子ども学科においては、高い保育の専門性と豊かな人間性を兼ね備え、地域社会に貢献できる骨太な幼稚園教諭・保育士の養成と、その基礎となる教育研究の推進を目的とする。(山村学園短期大学学則、第 1 章第 1 節第 1 条第 3 項)
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法: ホームページ http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/matters_students#b-653628)
(概要) ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針) 子ども学科では、建学の精神 (質実・英知・愛敬)、学則にある短期大学及び子ども学科の目的に則り、学則第 43 条 (卒業) に示す所定の教育課程を修め、66 単位以上を累積 GPA 一定以上の成績で修得し、以下のような知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を備えた者に対し、その卒業を認定し短期大学士の学位を授与します。 (知識・技能) 1 保育者としての専門的知識・技能 2 社会人として必要な教養・知識 (思考力・判断力・表現力) 3 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、職業や社会における諸問題を自ら発見、分析、解決方法について考察する力、さらに自分の考えを他者に口頭、文章、あるいは身体をもつて的確に表現する力 (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) 4 保育への情熱と使命感を持って社会に貢献しようとする主体的・積極的な態度 5 人や自然を深く愛し、慈しむ態度 6 社会人として必要なマナー・常識・態度
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: ホームページ http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/matters_students#b-653627)

(概要)

(教育内容)

1 保育者としての専門的知識・技能をはじめとして、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を育むため、教養科目及び専門科目を科目内容の分野や関連性から記号・番号をつけ、体系性、系統性をふまえて配置し、学生が学びの全体像や科目間の関連を容易に理解できるようにカリキュラムツリーを作成します。

2 保育者としての使命感や態度、社会貢献への積極的な姿勢、人や自然を深く愛し、慈しむ態度等を涵養するため、学内外の自然・社会環境を利用した体験型の学習を取り入れた科目を配置します。

3 1年次には、建学の精神を理解し、大学における学びへの適応を速やかにするとともに、社会性や学ぶ力の基礎を育むため「子ども学演習Ⅰ・Ⅱ」「キャリアアップセミナーⅠ・Ⅱ」を、2年次には主体性、協働性、対話性、人間力を高めるため「子ども学ゼミナールⅠ・Ⅱ」「キャリアアップセミナーⅢ・Ⅳ」をそれぞれ配置します。

4 保育士資格及び幼稚園教諭二種免許状の取得に関する科目による幼稚園教諭・保育士養成課程を編成するとともに、その他保育者として資質向上に資する資格が取得できる科目等を配置します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ

http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/matters_students#b-653626)

(概要)

子ども学科では、建学の精神（「質実」、「英知」、「愛敬」）を理解するとともに、現代社会に対応し、人間に対する深い理解と愛情を備えた心豊かで広く社会の発展に寄与できる人材の育成方針に共感する、次のような者の入学を期待しています。

(知識・技能)

1 幼児教育・保育の学習に必要な十分な基学力を備えている。

2 音楽、造形、言語、身体などの表現技術などに親しんでいる、あるいはこれらを今後学ぶにふさわしい豊かな感性をもっている。

3 社会人として必要な教養・知識を身につけようとする姿勢をもっている。

(思考力・判断力・表現力)

4 学びの基礎となる読む、書く、聞く、話す能力や自ら課題を発見し、考え、判断し、行動できる力を高めようとする姿勢をもっている。

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

5 幼児教育・保育に情熱と使命感をもって取り組むことができる。

6 人や動植物、自然に対する深い愛情を持っている。

7 笑顔、挨拶、言葉づかいなど基本的な対人関係能力を備えている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ

http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/university_organization1

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
子ども学科	—	3人	5人	1人	人	人	9人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員			計	
人			人			人	
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページ http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/university_organization2					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④ 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
子ども学科	100人	58人	58.0%	200人	107人	53.5%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	100人	58人	58.0%	200人	107人	53.5%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
子ども学科	64人 (100%)	0人 (0%)	60人 (94%)	4人 (6%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	64人 (100%)	0人 (0%)	60人 (94%)	4人 (6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載

事項)						
学部等名	入学者数	修業年限期間内		留年者数	中途退学者数	その他
		卒業・修了者数				
	人 (100%)	人 (%)		人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)		人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)		人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)						

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) シラバスに各科目の詳細を記載している

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) シラバス、学生便覧（ディプロマ・ポリシー）による ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針） 子ども学科では、建学の精神（質実・英知・愛敬）、学則にある短期大学及び子ども学科の目的に則り、学則第 43 条（卒業）に示す所定の教育課程を修め、66 単位以上を累積 GPA 一定以上の成績で修得し、以下のような知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を備えた者に対し、その卒業を認定し短期大学士の学位を授与します。 (知識・技能) 1 保育者としての専門的知識・技能 2 社会人として必要な教養・知識 (思考力・判断力・表現力) 3 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、職業や社会における諸問題を自ら発見、分析、解決方法について考察する力、さらに自分の考えを他者に口頭、文章、あるいは身体をもつて的確に表現する力 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) 4 保育への情熱と使命感を持って社会に貢献しようとする主体的・積極的な態度 5 人や自然を深く愛し、慈しむ態度 6 社会人として必要なマナー・常識・態度				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	子ども学科	66 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位

	単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）	公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）	公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ

http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/environment_and_facilities

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	子ども学科	695,000 円	300,000 円	365,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 本学では2年間の学習をより効率的かつ充実したものにするために、達成すべき学習成果を設定し、学生自身で自己評定できるようにしている。これは、近隣の幼稚園、保育園の先生方からの意見、卒業生からの意見、在学生からのアンケート調査などを通して作られた、「知識」、「技能」、「態度」の三つのカテゴリー64の項目から構成されている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 入学から卒業までの2年間を通して週1回キャリアアップセミナーを実施している。1年次当初は、高等学校から大学への円滑な移行のため、「初年次教育プログラム(文章作法、口頭発表技法、調査方法、学生生活における時間管理や学習習慣等)」を実施。その後、自己分析やマナー、個別面談、履歴書・作文・面接指導等をキャリア支援センター・担任・カウンセラーが連携して指導にあたっている。他教員や職員も情報を共有し、時間外の相談や面接練習も行い、進学希望者についてもきめ細かい指導を行っている。公務員希望者は2年次にコースを設け指導している
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 入学当初より担任と個別面談を実施し、状況把握に努めている。また、カウンセラーがキャリアアップセミナーに参加し、入学当初より学生に関わり相談・カウンセリングを実施している。その他教職員も積極的に学生に話しかけ全学で情報を共有し少人数ならではの細やかな支援を行っている。必要に応じて保護者と面談を行う等、退学防止にも努めている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ http://www.yamamura-tandai.ac.jp/copy-306/university_organization2
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。